

クリスマス家族会

1. 会長挨拶

会員並びに御家族の皆様、本日は沢山お出で下さいまして有難うございました。当クラブは誕生して3年、今回は3回目のクリスマス家族会です。そして、この会は御家族の方に楽しんでいただくよう企画されております。

皆様方はお父さんからロータリーのことについて既にお聞きのことと思いますが、先程歌った「奉仕の理想」がその精神です。クラブの行き方として、クラブ奉仕、会社奉仕、職業奉仕、国際奉仕の4つの委員会をつくり、それぞれに委員を出して活躍しております。その活躍されるお父さん方を支えて下さるのが御家族の皆様です。どうぞお父さんを激励してあげて下さい。

本日はごゆつくりお寛ぎの上、御歓談下さるようお願いいたします。

2. 親睦委員長挨拶

(代理 俣野会員)

3. 司会 成田副会長、市川幹事

4. 出席者 会員22名、家族24名

5. キャンドルサービス(きよしこのよる)

6. 開宴

イ 記念品交換

ロ サンタクロスプレゼント

山形会員が活躍し、子供さん方から大変喜ばれました。

ハ バンド演奏

半田機械KKのおなじみのプレイボーイズ、一段とみがかきがかつての出演でした。オ二部ではバンドに合わせてダンスたけなわとなりました。

ニ 余興

ゲーム お母さん、お姉さん、坊やで8名出場、音楽に合わせて椅子の廻りを廻る。ピストルがなると椅子に坐らなければならない。但し椅子は7つ、選挙戦ながらのきびしいゲームです。而も毎回椅子が一つづつ減ります。オ二回には黒一点として新前会長さんが出場しましたが、惜しくも2回で失格。それでも大変嬉しそうでした。

会員余興 今年はずつかり影をひそめました。

ホ くじ引き

7. 斉唱 ♪手に手つないで♪

8. 閉会の挨拶 成田副会長

The Weekly Report of Hakodate North R.C.



第129回例会

例会場 明治生命館  
例会日 毎週水曜日  
1230~1330

※ 司会 遠藤理事 ※ 斉唱 手に手つないで

※ ビジター 小寺寛一君他4名(函館)  
石畑常四郎君他4名(函館東)

※ 遠藤理事挨拶

「GOVERNOR'S LETTER」の一部を御紹介します。

1. エバンス会長が「今こそロータリーを分かち合う時」と題して次のように述べております。「過去の恩恵を受けていない者は誰も居ないし、自分を自力で作上げた者も居ない。我々を教えてくれた恩師の事を想い、又、我々を慈しみ育ててくれた両親の事とか、多くの恩人の事を想う事は大切な事である」「何処でも、ロータリーに依つて高められる適任の人が居り、又適当な地域があるし、我々もロータリーを分かち合う責任がある。一人の飢えた子供がいる限り、或いは無知な男や失意に打ち沈んだ若者がいる限り、何処かに誤解や衝突のある限り、未だ見出されていない友がいる限り、そこにロータリーの存在する理由がある。平和の使者の心は、我々が起我の奉仕で、ロータリーを分かち合う時に、又我々の友情を増大し、他への理解や思い遣りを深める時に、我々のすべてに胸中深く実感されるものです」
2. ガバナー所感として、「この半年を深く反省し、後の半年をさらに充実したものにするため、努力をいたしましょう」と述べておられます。

※ 幹事報告

1. 当クラブのアシスタント小岩さんが結婚のため1月中におやめになります。代りの江藤さんを御紹介します。どうぞよろしく。
2. 塚田会員は御病気で札幌医大病院に入院中ですが、1月中旬頃退院予定とのお手紙がありました。
3. クリスマス家族会の写真をお申込み下さい。

※ 出席報告

1. 本日 会員数29名 出席18名
2. 前回 82.76% (29名中24名出席)
3. 月間 84.91% (地区53位)
4. 他ク 函館98.1% 函館東94.81%

新入会員  
平野義勝君





私の店(五島軒)は来年で満88年になります。私は3代目で、洋食屋に生まれ洋食屋に育つた根つからの洋食屋です。日本料理の中に洋食が沢山入っています。パン、テンブラ、トンカツ、カレーライス等はそうです。洋食が日本に入ってから既に100年になりますが、一面から見ると洋食の発展と函館の経済的な発展とは関連性があるように思います。今日は私の店を中心にした明治初年来の新聞の切抜きなどを持参しましたので、それを参考にお話します。

私の店は明治12年に開店しております。朝NHKのテレビで「おはなはん」のドラマを見ている方が多いと思いますが、あのヒゲカツの店の椅子の形やボーイの服装は、私の店の明治30年頃の写真と同じようです。私の祖父は埼玉県鴻巣の出身で、明治10年に来道しておりますが、ようやく明治19年に八幡坂下角に店らしい構えを持つようになりました。当時の新聞広告には、横浜からフランス帰りの優秀なコックを雇い入れ、30名以上の宴会が出来るといことが候文で書かれています。当時の値段ですが、上食1人前50銭、中食が25銭、パン1斤8銭とあります。又洋食器、洋酒罐詰等は銀座松坂屋向の亀屋鶴五郎という店から送つて貰い、祖父の妹が桜正宗東京店の支配人に嫁いでいたので、現在まで桜正宗を用いております。五島軒の名称は、長崎県五島列島出身の通称五島さんという人が、函館戦争の後ハリスト教会でロシア料理を習得し、この五島さんを祖父が雇用して名付けたもののようです。

当時洋食店の経営は成り立つだけの素地はあつたようです。当時の函館の人には案外洋食を食べ、パンを食し、ウオツカ、ブランデー等も飲んでいたようです。又私の店より古く養和軒とかカネキ木村という店もありました。私の母方の祖母は日本で一番最初に洋風の帆船を造つた統豊治の孫です。母方の祖父は当時既にロシアの服を着ており、晩年にウオツカを呑み、死ぬ間際にタンシチューを要望したとの話が残っています。母方の祖母の兄が福土成豊です。明治39年母が若山へ嫁ぐことになつた時、パンと洋食の店なら将来性があるからとすすめられたそうです。

明治40年の大火後現在の所に越して来ました。日本で最初に肉屋を開業した山田亀吉さんの別荘跡で、山田さんはブラキストン商会のお抱えコックでした。私の祖父は山田さんから料理を習つたのではないかと思います。

私の父親は料理を作ることが非常に好きで、60才で亡くなる直前まで白衣を離さず料理を作つておりました。昭和の初期の7円か8円位の料理の献立を現在と比較検討しましたところ、1万5千円位の価格になります。それだけのものを函館人が食べていたことになります。過去をふりかえつて、私などはまだまだ父の商売には及ばないような気が致します。



通算才146号

266-1967-1-4

函館北ロータリークラブ

第130回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

- 司会 飯田 会長
- 斉唱 君が代 奉仕の理想
- ビジター 大坂谷道三君他4名(函館)  
飯出貞一君他3名(函館東)

会長挨拶

函館には珍しい大雪です。大雪になれば地温が下がり、虫の卵やバクテリアが死に、従つて豊作が期待されます。尚今日は理事会を行ないません。

お知らせ

日本ロータリー史編集委員会及びロータリー連絡委員会の事務所が変更になります。東京都千代田区有楽町1-5 有楽町ビル10階

ニコニコ箱

1. お誕生日おめでとう 遠藤君(1日) 木屋君(5日)  
山内君(15日)
2. 御結婚記念日おめでとう 俣野君(20日)

木材の輸入問題で10月末からヨーロッパに行き、10日前にはモスクワ、1週間前にはアラスカにおりました。

今年も又漁業交渉が始まります。日本は自由主義国家なので勿論交渉は自由ですが、ソ連のような社会主義国家は窓口が一本で、役人が大きな権限を持っています。漁業に関する一切はインコフ漁業大臣が決めます。先般日本は木材の交渉をやりましたが、これは日本側が自分の首をしめる結果になりました。それは各商社が向こうの売り値より競争して高く買おうとし、相場をこわしたからです。かつて町村知事が「共産主義国との貿易は窓口を一本にしなければならぬ」と言つておられたが、全く同感です。然し面白いこともあります。ニン、カズノコは通産省が一本にまとめているので、8年前と同じ安い値で輸入しているのです。利益は、道では道漁連に入れています。

私はソ連には18回、中国には9回、その他イタリー等ヨーロッパにも数回行きました。そして最近感じられることは、ソ連と中国は非常に仲が悪いということです。公然とお互いを非難しています。面白いことに、最近のソ連は少